

らしいのもりです。『正信  
偈』のお話を聞いていただ  
きます。そのあと気分転換  
して茶話会をします。お住  
職の話は易しく短くをモッ  
トーにいたしますのでお付  
き合いください。



毎月28日はお寺で  
たのんちやおしゃべりしましょ！  
きてくだはれまつ

4月28日午後2時より  
 パワーアップして再開します

Gobohann News  
だぞはん  
より

仏道を習うというは  
自己を習うなり

道元禪師

先日テレビを見ていたら愛知県で新型コロナウイルスに感染した人が飲食店に行って「うつしてやる」と言ったという事件が起きたと言うことを報道していました。「感染者はじつとしている」「人迷惑なことをするな」なんて思ったわけですが、でもふと思ったのですが、なぜそんなこと言ったのだろうかと、黙って飲食しておればばれずに済んだはずなのにと思ったのです。何かあつてこういうことをしているんじゃないかと思つたわけです。後日談として残念なことにこの事件によつて数名のかたが感染したようです。またその一人の女性は感染を知らされて泣き崩れたと報道されていました。そういう

ことを考えれば感染すると世の終わりのような思いになるのでしよう。フリーランスで仕事をしていたり、日給で仕事をしている人ならばなおさらのことかもしれない。外に出ることを自粛するように言われるとその間働けないわけですから収入が減るわけですから。そういう意味で「うつしてやる」と言った人もすごいストレスというかそういうものにはすごく襲われていたのではないでしようか、そんな気がしてなりません。感染者のかたのストレスを少しでも減らすためにウィルスは憎んでも感染者を憎んだりまた特異な存在という視線で見るのをやめないと、なってしまうわけです。

修 嚴 會 經 堂 祠

日時 6月14日(日)～15日(月)


午前 9 時 30 分～午後 4 時まで

14 日午後から尼講を勤めます

今回のコロナウィルスの状況により中止も含めて内容が変更になる場合もございます。

お迎えしました

さる3月27日城端別院法宝  
物巡回布教を蓮如上人のご  
影をお迎えして勤めさせて  
いただきました。布教に来  
ていただいたのは当初予定  
されていたかたが都合がつ  
かなくなり、急遽輪番様  
(別院で一番偉いかた)が  
お越しく下さいました。法  
宝物というのはいろんな意  
味があるけれどもこの巡回  
法座が催されているという  
事実が法宝物ですよと教え  
てください、お話が始まっ  
てきました。この言葉に  
であわせていただき法座を  
開いた意味があつたなつて  
うれしくなりました。お参  
りいただいたかたは3人と  
少なめでした。お来年はも  
う少しお参りいただけるよ  
う住職が頑張らないと思  
わせていただきました。お  
参りいた  
だいたお  
皆様には  
心より御  
礼申し上  
げます。



2017年2月より開設されている「東本願寺いのちとこころの相談室」。“傾聴”を基本に、宗門と現在の社会とが接する最前線の現場として開かれています。事前研修と毎月の検証の場（スーパービジョン）を重ねた職員が悩みや悲しみを抱えた人々の声に耳を傾けます。また、全国にも相談の場が開かれています。

## 電話相談


電話  
相談

 075-371-9280

毎週木曜日 13時～17時  
(祝日・休館日、その他行事日は閉室)

## ●その他、宗派の相談窓口

東京  
ココロダイアル

03-5923-5560 


受付 毎週金曜日  
時間 10:00 ~ 21:00

名古屋  
老いと病のための  
心の相談室

052-331-9580 

受付 平日  
時間 13:00～16:00

**金沢**  
**心の相談室**  
**(面談のみ)**

076-265-5191 

(金沢教務所事前申込先)

受付 平日  
時間 9:00～17:30



発行

真宗大谷派 常入寺

1. **Introduction**

電 話  
住 職 携 帶  
發 行 責 任

青井 和成



LINEはこちらから  
 ✓お参りの変更  
 ✓法事その他の相談  
 こちらからでも  
 できます

こんな時だからこそ、  
お説教を聞きますか？

東本願寺が開設しているホームページ「浄土真宗  
ドットインフォ」ではいつでもお説教を見ることが  
できます。

⇒右の QR コードをスマートフォンでかざすだけで見ることができます。(わからなかったら住職まで)



子育てをしていてちよつと疲れたあなたへ  
また自分のお子さんたちの子育てがちよつと苦勞しているともえてるあなたへ  
ニュージールランドを中心とする英語圏に、赤ちゃんを育てている母親たちにエールを送る詩が伝わっています。子ども世話に大いなるわで、余裕をなくしているお母さんに、*“いま、かけがえのないこの子はいつくしんでやれているのなら、それで大丈夫だよ”*とやさしく寄りそう詩行は、世界中の養育者を励ましています。その英詩に、ふさわしい日本語訳と絵により、たしかな形が与えられました。すべてのお母さんに贈る、小さな本です。



常入寺文庫に  
新しく仲間入り